

# 第1回 益田市自転車活用推進委員会 議事録

## 【開催日時・場所】

令和6年7月4日（木）13:00～15:00

益田市役所3F 大会議室

## 【議事次第】

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員長及び副委員長の選任
4. 議事
  - 議事1 計画改定の主旨・計画改定スケジュール
  - 議事2 自転車に関する動向
  - 議事3 計画改定における基本的な考え方
5. その他
6. 閉会

## 【配布資料】

- 資料1 委員会次第
- 資料2 協議資料
  - 2-1 計画改定の主旨・計画改定スケジュール
  - 2-2 自転車に関する動向
  - 2-3 計画改定における基本的な考え方
  - 2-4 ヒアリング対象者一覧
- 資料3 参考配布資料
  - 市民アンケート調査票
  - 市民アンケートにおける委員意見整理
  - 第2次 自転車活用推進計画（国計画）

[策定委員会の様子]



## 【出席者名簿】

### 策定委員

No	所 属	職 名	氏 名	出 欠	備 考
1	公立大学法人島根県立大学	准 教 授	松 田 善 臣	○	
2	島根県自転車競技連盟	理 事	永 井 伸 次	×	
3	サイクルライフナビゲーター		絹 代	○	
4	益田市教育委員会	委 員	原 田 笑	○	
5	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」	益田地区幹事	長 野 知 恵 子	○	
6	益田市身体障害者福祉協会	会 長	野 村 長 典	○	
7	有限会社森谷	代表取締役	森 谷 典 子	○	
8	益田市連合自治会会長会	副 会 長	澤 江 佑 三	○	
9	益田サイクリングサークル		村 川 修	×	
10	一般社団法人益田市観光協会	事 務 局 長	高 倉 大	×	
11	益田警察署 交通課	課 長	高 木 俊 輔	○	
12	国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所	副 所 長	安 部 正 和	○	
13	島根県益田県土整備事務所 維持管理部管理第一課	課 長	安 田 修 二	○	

### 事務局

1	産業経済部	部 長	梅 津 明 則	○	
2	産業経済部 観光交流課	課 長	桐 木 俊 始	○	
3	〃	課長補佐	城 市 唱 子	×	
4	〃	主 査	島 地 隆 広	○	
5	〃	主任主事	池 田 尚	○	
6	〃	主 事	田 中 翠 芭	○	

### 計画策定委託事業者

1	株式会社コスモブレイン		祐 源 平 雄	○	
2	〃		松 崎 健	○	
3	〃		安 達 明 宏	○	
4	〃		松 尾 由 鈴	○	

担当課

1	政策企画局連携のまちづくり推進課	課長	田原 栄里子	○	
2	総務部人事課	課長	小田川 拓史	○	
3	総務部危機管理課	課長	堀本 剛	○	
4	福祉環境部子ども福祉課	課長	志田原 涉	×	
5	福祉環境部健康増進課	課長	盆子原 洋子	×	
6	福祉環境部高齢者福祉課	課長	小林 晃	○	
7	福祉環境部環境衛生課	課長	桂木 真	○	代理出席 課長補佐 川本章司
8	福祉環境部障がい者福祉課	課長	齋藤 大也	○	
9	建設部都市整備課	課長	宮崎 幸司	○	
10	建設部土木課	課長	野坂 淳	○	
11	建設部土木課	参事	金崎 正照	○	
12	教育委員会学校教育課	課長	田原 正紀	○	
13	教育委員会協働のひとづくり推進課	課長	岡崎 健次	○	

## 【議事録】

### 1. 開会

事務局	本日はお忙しいところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。それでは第1回目益田市自転車活用推進委員会を始めたいと思います。 委員会の開催にあたり、山本浩章益田市長よりご挨拶を申し上げます。
-----	--

### 2. あいさつ

益田市長	<p>本日は大変お忙しいところ、第1回益田市自転車活用推進委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。また日ごろから益田市の自転車活用につきまして、いろいろとご指導やご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。</p> <p>さて、益田市におきましては、令和2年6月に益田市自転車活用推進計画を策定しております。この計画は、計画期間が令和2年度から令和6年度となっており、今年度が最終年度となります。今後、第2次計画策定に進んでいきますが、まずはこれまでの取り組みについてご説明させていただき、色々と忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>例えば、自転車活用推進計画の施策を推進するため、民間団体の取り組みを支援する益田市自転車活用推進事業補助金を創設しまして、地域実組織や各種団体に活用いただいております。また、令和4年8月には国土交通省のかわまちづくり支援制度に益田市高津川かわまちづくり計画が登録されまして、昨年はかわまちづくり計画に則って2つの拠点と河川管理道を活用したサイクリングロードの利活用と維持管理を行うことを決定したところです。また、令和5年5月には益田市自転車ネットワーク計画を策定したところです。更には、2030年の島根県で開催される国民スポーツ大会においては、益田市がロードレースの会場となっておりますので、今後、国民スポーツ大会のロードレース競技に関わる人材育成や、推進体制の整備を図ることを目的として、サイクルスポーツ振興事業を開始したところでございます。</p> <p>こうした取り組みについて、本日ご説明をさせていただきますが、先ほど申しましたように何卒忌憚のないご意見をいただきますようお願いをいたします。</p> <p>それでは、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。</p>
------	--

### 3. 委員長及び副委員長の選任

事務局	<p>ここで山本市長は別要務のため、退席させていただきます。</p> <p>それでは、議事に移りたいと思います。</p> <p>委員長、副委員長の選任について、委員会規約第3条の2の規定により委員長は委員の互選により選出するとされています。</p> <p>委員長の互選について、立候補やご推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">委員からの意見なし</p>
事務局	それでは、事務局案としまして、委員長として、松田委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

	承認いただける方は拍手をお願いします。
一同了承	
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、次に副委員長について、規約第3条の3の規定により委員長より委員の中から指名することとなっております。</p> <p>松田委員長いかがでしょうか。</p>
委員長	昨年度に引き続き、森谷委員にお願いしたいのですが、いかがでしょうか。
事務局	<p>ただいま委員長より、森谷委員にご推薦いただきましたが皆様いかがでしょうか。</p> <p>承認いただける方は拍手をお願いします。</p>
一同了承	
事務局	<p>ありがとうございます。委員長は松田委員に、副委員長は森谷委員に決定いたしました。</p> <p>ここで、松田委員長、森谷副委員長より一言ずつご挨拶をいただきたいと思えます。松田委員長、森谷副委員長よろしくお願ひいたします。</p>
委員長	<p>先ほど市長からお話があったように今年度は計画の改定の時期となっております。これは私の個人的な考えになりますが、立派な計画、理想的な計画だけ作ってもそれが実行出来なければ全く意味がないと思っております。ですので、より実効性のある計画になるように、今の計画をしっかりと見直し、評価をして、それを踏まえて次期計画が策定できればと思っております。市長も仰っていたように、忌憚のないご意見を皆さんから出していただければと思っております。</p> <p>本日は終了時刻が次第に記載されておりませんので議事をいつまで続けていいのかよくわかりませんが、おそらく1時間半くらいが目安かなと思っております。なんとか時間に収まるようにしたいと思っておりますが、積極的にご意見を仰っていただければなと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
副委員長	<p>副委員長に任命させていただきました、有限会社森谷、Fruits moritani の森谷典子と申します、よろしくお願ひいたします。</p> <p>5年前になるのかとちょっとドキドキしていますが、あれから自転車を買うと宣言しておりましたのに私は買っておりません。主人と子供全員は買いましたが、私だけまだ自転車を買っておりませんので、コロナだったという言い訳で、今年は買えるようにしたいなと思っております。</p> <p>ただ、やはりこのように委員会に参加させていただくことにより、確実に自転車というものに対していろいろな知識ですとか、普段であれば知りえぬ情報なども頂いたことによって、子供たちにも啓蒙活動等、すこしずつでも何か広がっていくのかなと思っております。自分自身にできること、私自身にしかできないことを考えながら市長の SNS を拡散したりなど、できることをすこしずつやってみりたいと思っております。</p> <p>特にこの委員会は、皆さん一番盛り上がる委員会だと勝手におもっております。皆さん忌憚のない意見を本当に繰り広げられて、委員長も仰っておられたように全く時間の足りない委員会となっておりますので皆さんも覚悟して頂けたらと思っております。</p>

	おります。どうぞよろしく願いいたします。
事務局	ありがとうございます。ここからは、益田市自転車活用推進委員会規約第5条により、松田委員長に進行をお願いしたいと思います。それでは、松田委員長よろしく願いいたします。

#### 4. 議事

##### (「計画改定の主旨・計画改定スケジュール」事務局説明記録省略)

委員長	説明がありました、計画改定の主旨・計画改定スケジュールについて、ご質問や意見等ございましたら、お願いいたします。
委員からの質問・意見なし	
委員長	質問、意見などが無いようですので、次の議事に移らせていただきます。

##### (「自転車に関する動向」事務局説明記録省略)

委員	<p>ご説明どうもありがとうございました。私からは2点。</p> <p>「資料2-2 自転車に関する動向」の3ページ目、益田市自転車ネットワーク計画について、益田市における整備形態のひとつに現段階でも自歩道内安全対策が位置付けられています。自転車ネットワーク計画は、歩道上に通行空間を設けることは認められていないという制度になっているはずですが、自転車活用推進本部にも確認をしましたが、自転車ネットワーク計画は車道を利用するものになりますので整備形態について歩道上に通行空間を定める形で行くのか確認させていただけたらなと思いました。歩道上には歩行者がいるため、人対自転車の事故が起きてしまうことから、自転車の通行空間を歩道から車道に転換させるというのがネットワーク計画の根底にある考え方です。歩道はあくまでも歩行者のためのペースです。歩道上に自転車の通行空間を作るといくら徐行をお願いしても自転車に乗っている方を転換させることは難しいということになります。歩道上に自転車道を作るとは認められていないはずなので、この部分について第2次計画策定のタイミングで確認させていただければなと考えております。</p> <p>電動キックボードの話がありましたが、今日ちょっと街を見た印象ではおそらく益田には電動キックボードがそれほどいないのではないのかなと思います。現在、日本で問題になっているのは電動キックボードではなく、モペットと呼ばれる電動自転車です。見た目は自転車ですが、ペダルを漕ぐ必要はなく、スロットル等があり電動モーター等で動くような種類の乗り物が一気に増えてきています。中国などから個人輸入するような形で東京などでは爆発的に増えていて、私の住んでいる横浜市のマンションにも数台いるような状況です。これをどう取り締まるかが警察でも課題になっています。モペット自体はかなり便利なもので益田においてもごく簡単にネットで購入できます。モペットに関する対策は頭の中に入れておいていただいた方がいいかなと思います。</p> <p>最後に1点付け足すと、こうした会議は1時間半で終わるところはあまりなく、2時間、3時間と議論することも多いです。以上です。</p>
----	---

委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>1番目のネットワーク作成計画についてお答えできる方、お願いいたします。</p>
土木課	<p>お答えいたします。自転車ネットワーク計画ですが、この度8月に、市、県、国、警察からは保安委員会の方等が集まりまして部会の開催を予定しております。益田市土木課では市道管理者として、今年度計画の11パーセント程度の進捗を予定しております。上記の市道については、全て車道混在となっています。関係機関協議により決定する緑色で示す路線についてはほぼ県道になってきます。</p> <p>8月の部会において、絹代委員の意見、各委員の意見をもう一度再認識するような形で同意を図っていければと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。今の国の姿勢、自転車ネットワーク計画の根本的な考えは、自転車が車道を車の仲間として走れるようになっていこうという点です。市の自転車ネットワーク計画では、おそらくこの市役所前がメインの通りであると思うのですが、せつかく100-ZEROを謳っているのに、歩道上に通行空間を作った瞬間におそらく印象は非常に悪くなりますし、今認められていない整備形態でもあります。例えば車道がとても危ないと感じられるのであれば、並行して走っている他の道路を自転車に推奨するといった方法を国は推奨しております。もし第2案が取れるのであればぜひそういった形で進めていただきたいと思います。</p> <p>今後、日本で自転車が交通機関として機能していく場合、歩道上では時速6.5km/h程度の速度でしか進めませんので目的地にたどり着けません。なので、根本的な考え方に則り、せつかく走行環境がいい益田ですから是非それを押し出せるような形の計画を期待したいと思います。私からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。なにかコメントやご意見はありますか。</p> <p>では、私から1点、個人的な関心なのですが、自転車青切符の運用についてどうなるのだろうかと全然想像が付きません。高木委員、イメージなどはありますか。</p>
委員	<p>この動きは報道でも承知しており、流れはわかっているところなのですが、まだ具体的にどのように対応するかということろまでは警察署には降りてきていません。私は3月までは県警本部に居りましたが、具体的内容はまだ情報が無いところです。</p>
委員	<p>私、この件の検討委員もやっておりますし警察庁で話し合いをしておりました。私が聞いている中では、青切符を積極的に切っていくのではなく非常に悪質なものと基本的には静止を振り切っていった人に対して青切符を切るというような考え方で聞いています。ただし、ルールの徹底というのはこれから進めていくこととなります。</p> <p>この青切符というのが設けられたというところで、マスコミでは大いに話題になっているのですが、この策定の中では青切符を作るということよりもルールを分かりやすく整理していくことが重要です。青切符をやるのであれば全国民がルールをわかっていないと疑心暗鬼になってしまっ、不安で自転車に乗れなくなってしまいます。例えば、さっき歩道上の自転車の走行速度として6.5km/hと仮の数値を出しましたけれども、歩道上を徐行しなかったら即青切符だともう誰も怖くて自転車に乗れなくなってしまいます。なので、そうしたファジーなものに対して青切符は出さ</p>

	<p>ない。また、例えば、手信号は右左折が終わるまでずっと出していなければいけないルールだったりしますが、そうした誰も守れないようなルールがあります。</p> <p>ルールを分かりやすく整理していく。守れるルールをわかりやすいように示していく。交通安全教室に力を入れてこれからガイドラインを作ってやっていくという3本柱で進む、ルールについてはこのうちの2つが重要なのかなという認識です。</p> <p>来週から官民協議会が立ち上がりまして、交通安全教育についてのガイドラインを作るのですけれども、青切符については警察では誰も彼もから取らない方向性で検討されており、悪質じゃないものに関しては、言葉を忘れましたが、青切符ではなく指導警告というのをやっていくという様に、青切符の策定に向けて話し合う委員会の中で警察庁からご説明がありました。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。他はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ご意見、ご質問ないようですので、次の議事に移らせていただきます。議事3、計画改定における基本的な考え方について説明をお願いします。</p>
<p><b>(「計画改定における基本的な考え方」事務局説明記録省略)</b></p>	
委員長	<p>ただいま説明がありました計画改定における基本的な考え方について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございました。「資料2-3 計画改定における基本的な考え方」の2ページ目、㊸高齢者に対する交通安全教育の推進ということで、令和5年度で1回実施して達成されたということですが、具体的にどのような交通安全教室だったのか、その回数とかその対象者、どういうところで教室をされたのかなというところを伺いたいです。今年度も1回になっていますが、高齢者といっても随分人数が多いのでどういう状況だったのかなというのは、知りたいと思います。</p>
事務局	<p>私の記憶が正しければ、自転車に特化したものではなかったのですが、高齢者の方を対象とした大きな会議が行われた際に、交通安全教室という名目で気を付けましょうなどの啓発を行ったという風に伺っています。詳細が今わかりませんので、また報告させていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>先ほどの長野委員の質問に関連しますが、㊹障がい者に対する交通安全教育の推進について、6年度は目標値1回とあります。私は障がい者関係のお世話をいろいろとしておりましてこの教室に関して、こういった協力の関わり方を行えばいいのかイメージがありましたら教えてください。</p>
障がい福祉課	<p>協力をどのような形でというようなご意見がございましたが、障がい者に対する交通安全教育の推進につきましては現実問題、様々な特性のある中で難しい現状がございます。交通安全という観点から言えば障害をお持ちの方に対する推進が必要だと考えているのですが、現状的には先ほどの通りでございます。</p> <p>一方で、障がい者の各種施策を推進するにあたりまして、民間の法人も含めた関係者の技術協議会というところがございます。その中では、毎回とは言いませんけれども、交通安全教育等の場をどう進めていきたいと思いますかという議論をさせていただいております。身障協会の方も参加をいただいていると認識をしておりますが、その中で関係各所と協力をしながら、協議をしている最中でございます。現実的に</p>

	<p>は、障害をお持ちの方だけをターゲットした安全教室はなかなか困難かなと思っておりまして、障がい者の方、一般市民の方も含めた全体の中での整理が現実的ではないかなという考えです。</p> <p>もう一つ、ここは県の所管ではございますが、益田養護学校などでの交通安全教室の開催につきましては、警察署の方々と調整をしている状況でございます。警察署は、もし開催するとなった場合には喜んでご協力をさせていただくというようにやり取りもさせていただいている状況でございます。現段階では身障害協会の方にどのような形で連携をさせていただきたいと具体的なイメージを持たれるものはないという状況で検討中でございます。</p>
委員	<p>失礼します。資料の3ページ目の庁内で関係各課の横断的な連携強化を図るという点についてです。益田市は自転車活用推進計画策定にすごい力を入れているというのは今日のこの雰囲気ではわかるのですが、これから4回ある委員会では今日のようにまた関係課の皆さん来られるという予定ですか。</p>
事務局	<p>今後、開催する委員会につきましてもこのような形で進めたいと思っております。関係課の方も毎回参加をいただきまして、また、開催にあたりましては事前に庁内でも打ち合わせ等をして、委員会の方での対応などをしたいと考えております。</p>
委員	<p>そうすると、専門的な意見等、良い意見がたくさん出るのではないかと思います。この推進委員会には相当知識のある委員の皆さん出されると思うのですが、この場での意見の交わり合いにも関係してくるのでしょうか。あるいは、こうした場では委員からの意見を集めて、庁内の話し合いの場でさらに練っていく、そういう段取りになるのでしょうか。この場で意見の交わり合いがなされるのならわかりますが、異なる場で出された回答に対してあの時にそうだったのかなってというようなことが起こらないようにしてほしいなという考えです。関係各課の代表の方が来ておられると思うのですがただ答弁に答えるだけじゃなくて、この場で意見を出してほしいなという感じがします。</p>
事務局	<p>澤江委員のお気持ちは重々わかりますが、この計画策定委員会は本日お集まりの委員の皆様方に我々としては委託をしてお願いをする計画でございます。そのことは間違わずに、委員会の中での議論が大事だろうと思っております。事務局として後ろにおりますのは、様々な委員の皆様意見を直に感じて、こういうところをやるべきだとか、こういう視点が足りなかったとかというのを、しっかり情報を共有し、実際の業務の中で活かしていくということでの位置付けでございます。ただし、個々の質問については観光交流課が所管しますが、答弁できない事柄もございまして、そうしたご意見・ご質問については担当課から直接答弁をさせていただくということでございます。お気持ちは重々わかりますけれども、この委員会の中でしっかりご議論をしていただきたいなと思っております。よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>委員会のあり方として、事務局側に各課が並んでプレッシャーを感じられるのであれば、配置等は検討します。</p> <p>策定委員会では計画策定について、事業者も入って様々なアンケート調査の内容</p>

	<p>であるとか、それを取りまとめ、どのような方針にしていくかというところをしっかりと議論をしていくつもりでございます。</p>
委員	<p>根本的なところなのですが、今回の自転車活用推進計画の趣旨というか、まず益田市がどういうビジョンを持っているか、どんなところを達成したいのかを描くかというのがまず1番重要かと思えます。いただいた資料から、前回は重点施策と施策に分けていて、それでも施策が非常にたくさんあって達成が難しかった、シンプルにしたいというのはわかったのですが、この絞り込みはどういう手順やどういう観点で行われるのでしょうか。おそらく、まずビジョンがあって、それに向けて何を達成するのかという形で施策を位置付けていくだと思います。今日渡された資料では絞り込みの考え方に関する記述がなかったので、それはこの委員会とは関係ないところで決まっていくのか、または私たちからここを重点にしてほしいみたいな意見を出していくのか、この根本的なところを教えていただけたらと思います。</p>
委託事業者	<p>ありがとうございます。的確にこうしていきたいというところについては、事務局とこれから話し合っ決めてさせていただきたいと思っております。また、本日の絹代委員のご意見も重々参考にさせていただきながらと思っております。</p> <p>資料3ページ目の左下に、現行計画の将来像「100-ZEROの町、暮らしやすい町と訪れたい町」とございます。この将来像はこれからも掲げて継続して取り組んでいきたいというところであります。また、大きく分野として、都市環境、健康増進、観光地域づくり、安全・安心の4分野がございます。その中で、第2次計画でどこを高めていくのかというところについては庁内、関係機関、企業・団体にもヒアリングをさせていただき、また、市民の意識把握をしながらどこが重要になるか、データとご意見を見ながら改めて考えていきたいと思っております。</p> <p>加えて、現行計画では自転車の持つ多様性から、身近なものから色々なところで施策を考えて位置付けていったという経緯がございました。一方、先ほどのように、障がい者の安全教育を実際にどうやってやるのかというところの具体性は詰め切れてなかったということも反省点としてございます。そうした反省点についても今後どのように進めていく必要があるのか立ち返って定めていきたいと思っております。施策の多さ、アプローチの多さというよりも、その中で大事なものを事務局と一緒に検討させていただきたいと思えますし、委員の皆様からもご意見を頂戴したいと考えてございます。一緒に作り上げていけたらというのが正直なところでございます。こちらとしては委員の皆さんには関係各課を通じて必要なデータを提供していきたいという様に思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。私が感じているところを意見として申し上げたいと思います。</p> <p>例えば手掛かりになるのが資料の1ページ目、計画の目標というところですが、まず、益田は自転車の利用率が非常に低い状況にあります。ですので、もっと日常的な移動手段、健康面を配慮しながら自転車に乗ってくださる方を増やしたいというのであれば、おそらくアンケートのデータからというよりは、市としてどういうビジョンを描きたいのかというところをまずしっかり持って、そのために何が必要なのか</p>

	<p>と考える必要があるのかなと感じています。</p> <p>特に市民満足度の目標値が10パーセントというのは、よく考えると目標としても結構寂しい数字だなと感じてしまいます。前回挙げていただいた施策と目標はちょっとずれているのかなという印象があったものもありました。例えば、ドライバーの気配りある運転の満足度が9パーセントと非常に低いのですが、これを上げるためにいきなり思いやり1.5メートルというのはやはりちょっとハードルが高いと思います。例えば、免許更新の時に思いやり運転に関するなどポスターが目に入るようにして、ドライバーの皆さんに自転車と一緒に道路を共有しなきゃいけないということを伝えていく。あとはメディアを使っていくとか色々あると思うのですけれども、どこを高めたいのか、そのために何が必要なのか、これから実行力のあるものをしっかりと話し合っていければいいかなと感じております。</p> <p>個人的に資料の2ページ目で思ったのは、㊸保幼小・中・高における各年齢段階での交通安全教育の推進について、目標の中にも保育園、幼稚園、子供園が入っていないというところですね。交通安全教室を若年齢に行っていますが、特に今自転車に乗っていない子どもについては皆さん自転車の乗り方をわかっていないので、保護者の方に伝えるのが非常に重要です。今日久しぶりに見たこの自転車活用推進計画の2ページ目の計画策定の趣旨を開くと、歩道を通行している自転車の写真が使われていて、ちょっとショックを受けたのですが、普段自転車を使われていない皆さんで計画を作られているので、こうしたズレみたいなものが生じてくるのかなと感じています。やはりまずはビジョンを作って、それに向けてどうしたいのか。おそらく大切なのは皆さんが自転車に乗ってくださることと安全だと思います。</p> <p>例えば自転車が関与する事故件数を13件から0件にする目標、この0件を掲げたのは本当に素晴らしいかなと思います。今事故がどれくらい起きているのかという資料は今回なかったのですが、実際の自転車の事故があるのかどうか分かるデータが必要です。</p> <p>また、国ではデジタル化が進んでいるという資料がありましたが、自転車通学をされているお子さんがいるのであれば、その通学路のヒヤリハットがあるようなエリアをGoogleマップ等をベースにデジタル化し、担当者が変わっても、誰が見てもどこが危ないのかなどがわかるような形で共有できるようにしていく動きが出てきています。益田市さんは安全教育もしっかりされているエリアですし、是非うまくデジタルを取り入れながら次の計画で、皆さんが自転車って怖くない、とても便利なものだよという様に思える方向をビジョンとしていただけたらなと思っております。私からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局からコメントありますか。</p> <p>絹代委員から挙げられたご意見の、施策の絞り込み、目標やビジョンの考え方等については、第2回の委員会でも間に合うという理解でよろしいですか。その時に案として出された目標やビジョンなどについて、委員会で意見を出すことになるかと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>意見と言いますか、事務局への要望です。</p>

	<p>益田市の中で色々な意見があった結果、話をまとめた資料がこうして手元にあると思うのですが、我々、今日来て足早に説明されて、その中で意見をくださいって言われるのも、なかなかちょっと全部が見切れない、理解ができないというところも多々あると思います。資料にその内容を詳しく書いてくださいということではなくある程度こういった資料が事前配布できれば、一通り目を通しておけば説明についていけるのかな、また、疑問があることについては当日意見ができるかと思いません。配れないものあるかもしれませんが、可能であれば、配布できるものは事前にいただくとせめて少なくとも目が1回は通せるのかなと思います。委員会で意見を出してくれと言われておりますが、そうしていただければ大変助かりますし、今後意見も出しやすいのかと思います。あくまでも要望でございます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。いつもの委員会ですと、1週間前に皆さんのお手元に届くように送らせていただいていたのですけれども、事務局側がバタバタした関係で、今回は当日配布ということになりました。次回以降に関しましては、なるべく早めに皆さんにメールなり郵送なりでお届けして、事前に目を通していただけるように資料を用意したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>これは私からも是非お願いしたいと思っております。委員の皆さんがどう考えるかわからないですが、可能であれば資料をちょっと前に送ってもらって意見があれば事前に出していただくというようなこともしていただけると良いです。</p> <p>これまでも1時間の時間制約を守らなければならないというプレッシャーに毎回晒されていたので、なるべく事前に出していただける意見については事前に出していただいて、委員会の中でもまた付け加えて意見を述べていただくような形ができれば理想かなと思います。なるべくそうなれるようお願いできればと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>先ほどの委員のご意見に付随して、私からも要望をお伝えさせていただきたいです。資料の2ページ目で仰っていた⑳保幼小・小・中・高における各年齢段階での交通安全教育の推進というところで、私も保護者の皆さんにもっとたくさん情報がわかるようにしていただきたいと思っております。令和5年度は実績値が小学校4.6回、中学校1.2回で、令和6年度の目標値が小学校6回、中学校3回となっているのですけれども、現状小学校、中学校、様々なイベント等ある中で、1年に1回ずつ増やしていくというのが現状可能なのかという不安があります。</p> <p>実際に自転車を使って子供たちに指導することも大事ですが、例えばオンラインを活用したり、市のケーブルテレビ局のひとまるビジョンに取材してもらって映像を流す、小規模の小学校に関しては合同で行うなど、効率的なやり方、手法も取り入れていただいて、それをさらに保護者が後から見られるような工夫もしていただくと大変ありがたいと思います。</p> <p>また、自転車に関する事故の件について、周りでは、交差点に生い茂った草に隠れてしまい出会い頭に衝突して事故に遭ったお子さんや雨に濡れたマンホールで滑って怪我をして縫わないといけなくなったお子さんがおられ、そうした情報は保護者のネットワークでは耳に入りますが、町コミや市からのお知らせからでは情報が</p>

	<p>入って来なくて、雨の季節でもあるためそうした怪我は大変心配しています。もし何か怪我があった時に、こういうところでこういう事故が起きたました気を付けましょうみたいなネットワークがあるのであれば、保護者としては大変ありがたいです。何か共有できるシステムみたいなのを作っていただければありがたいと思います。</p>
学校教育課	<p>小中学校における交通安全教室の実施の状況について、現状をご説明したいと思っています。計画では卒業までの平均受講回数ということで、小学校で6回、中学校3回という目標を定めています。要するに、毎年1回やれば卒業するまでに小学校であれば6回、中学校であれば3回の実施ということになります。</p> <p>令和5年度で言いますと、小学校は4.6回、中学校は1.2回という実績です。市内には、小学校は15校、中学校は9校ございまして、それぞれの学年で交通安全教室に参加している学年と参加していない学年もあり、その平均の回数を実績として報告をしています。昨年度だけで申し上げますと、実際は小中合わせて、令和5年度に実施できなかったのは1校しかなく、残りの学校ではすべて交通安全教室は開催ができております。しかし、学校の都合で対象学年を限定しているところもあり、このような状況になっているということでございます。</p> <p>開催の方法については、駐在所や交番の方に来ていただき、校庭や体育館などで実演といった形での開催となっております。委員が仰いましたように、オンライン等の方法については、今後どのように取り扱っていくのか検討させていただければなと思っております。やはり実演の方がより子供たちには伝わりやすいのかなという考えも持っております。ただ、そういったご意見があるということで参考にさせていただきたいと考えております。</p>
委員長	<p>ちなみに、ここでこんな事故がありました的なマップは警察などで作っていたりしていますか。</p>
委員	<p>県警全体で申し上げますと、島根県警のホームページの中に人身事故、怪我のある交通事故はオンライン上の地図に落としてあり、選択するとどういった事故かが大体は分かるようになっております。自転車関与での絞り込みができたかどうかは記憶にありませんが色々な条件で絞り込みができます。ただし、令和元年から令和5年までの5年間において、1年単位でのとりまとめですので、ちょっと前にあった事故がすぐには出てきません。</p> <p>先ほど委員からありました、草むらに隠れて見えないようなところで自転車とぶつかっている事故が比較的最近の事故でありましたけども、事故の当事者の方もいらっしゃると思いますので一般に広く情報発信はなかなか難しいと考えております。ただ、学校や同じような年代のお子さんに情報共有ということは重要だとは思っております。ちょうど来週になりますが、警察署と学校の連絡協議会というのがあり、各小中高のどなたかが警察署の方に来られて、事故の話ばかりするわけではありませんが子どもの事故の状況等の情報共有は図っていつているところであります。</p>
委員	<p>私からは、大きく2点質問をさせていただきたいと思います。</p> <p>資料2ページ目の目標値については、より詳細に内容がわかるバックデータがある</p>

と考えているのですがここには結果だけを書いてありますので、どういった検証があるのかは資料から推察するしかないと思い、私なりに少し解釈してみました。

1つは、達成した目標は今後の計画の中で継続することを前提とするのか、どういう取り扱いになるのかというところです。安全教育関係、特に交通安全教室の開催は非常に困難といった結果になっていますが、イベントに関しては、補助金等のサポートもあって回数が増えており、サポートがあれば非常に取り組みが盛り上がる傾向が見える。そうした時に、翻って安全教室にどういったサポートがあれば目標達成できたのかなとかいうことが見えてこない。自然体で開催を行った結果がこうだったのかなと想像ができてしまうのです。ここは結果だけの整理になっていますけど、色々とサポートがあってブーストできた⑫誰でも気軽に参加できる市民向けサイクルイベントの開催、こういったものを参考にしながら検証していくと、目標のあり方が分かるのではないのでしょうか。

次の3ページ目の本計画改定のポイントにも目標がぼんとして書いてあり、評価・検証の結果が反映されていません。2ページ目の短期目標に対して、あるいはアンケート結果を待つところですけど、1ページ目の目標については基本方針をどうしていくかなどが記載されておらず、3ページ目との繋がりが若干ちぐはぐな印象があります。

2点目は、3ページ目の本計画改定のポイントのところですが、目標値の評価・検証結果はまだ入っていないという風に理解させてもらいたいと思います。その上で、ポイント2として施策数の多さ、前計画の施策意図の共有化といったところが入っています。全ての施策実施が困難、進捗管理の煩雑化、大変正直にまとめていらっしゃいますが、地域の方からは分かっていたのではないのかというご意見が出るようなところがあります。また、それが施策の選択と集中、緊急性や重要性の高い施策の着実な遂行といったところと全然繋がっていない。どこからこの緊急性や重要性が高い施策を進める考え方が出てきたのか、ここには示してありません。コロナの影響もあるとは思いますがそれは一度置いておいて、例えば、複数の課で横断されていたりしましたがそれが施策の実施にあたってはどうだったのか、緊急性や重要性の高い施策に絞り込むという考え方にどう結びつくのかが分かる部分をもう少しきちんと言葉にしていいただければなと思います。大変正直に書かれておるとは思うのですが、全ての施策の実施は困難だったんです、進捗管理しなくなかったんですと書いてあるように見えて、上段と下段の説明が繋がっていないところも含めて、もう少し書き振りを深掘りして整理されてはどうでしょうか。

庁内関係課の横断的な連携強化といったところも突然出てきましたが、施策意図の共有化の話だと思われそうです。先ほど申したように、複数の課で実施するものなどがうまくいかなかったのはよろしくなかったもので、ちゃんと連携して強化を図るといったポイントの結論になったところかと思われそうです。昨年度のお話を聞いても施策数の絞り込みに行くのだらうということはよくわかりますが、まとめ方として説明が繋がる書きぶりになってない、あるいは、どうしてそう言えるのかといった書きぶりを持ってくることによって、施策の選択と集中の絵にも繋がっていき、一般の方にも非常に説明しやすくなっていくのではないかなと思います。どういう風に改

	<p>定のポイントを持ってきたというところを、もう少し整理されてはどうかというのが意見でございます。</p>
事務局	<p>今仰られたポイント2の緊急性や重要性の高い施策というのは、計画の中で、重点施策と言われていたものに当たるのかなと思っています。このポイント2がどうして現れたのかということですが、現行の計画を作った際には、色々なことをやろうと張り切って施策を位置付けていったのですけれども、やっぱり施策数が多かった。これまでの委員会でも進捗管理を皆さんにさせていただいておりましたが、その際に、「もう全部をやろうと思わなくてもいいから、毎年1個だけでも、これをやりきろうというのを見つけて進めてはいかがですか。」というご助言をいただけてきました。それを受けまして、次の計画では5年後にこれだけでも達成できるように頑張ろうというような計画を作りたいという思いがあって、ポイント2と施策の考え方のイメージ図を示させていただいたところでございます。</p>
委員	<p>ポイント2に赤字で示されている内容はまさしくその通りで私も同意しております。今のご説明のところが資料中に書いてあればいいのではないかという意見に代えさせていただきます。</p>
事務局	<p>書きぶりが固かったのかもしれませんが、表記の仕方も含めて考えたいと思います。この方向性でいいのかということも本日委員の皆さんにご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>次回以降、事務局から案として重点としたい施策は提案させていただくのですが、皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。すごく正直に書かれたっていう部分を私は割と好意的に受け止めていて、きっとそうなのだろうなという様には思っております。今お話にもあったように、おそらくこの計画を作った段階ではやれると思っていたと思いますが、実際動かしてみると進捗管理等なかなか大変だったっていうのを実感されたということだと思います。是非、次期の計画では同じようなことにはならないように考えて策定されるといいと思います。</p> <p>私は役所の仕事の仕組みやシステムがよくわかりませんが横断的に色々な課が関わるような事業をうまく進めるためのシステム作りなどは必要なだろうと思います。そうした点も踏まえて次期計画を策定していくと良いのではないかと思います。私の感想です。</p> <p>他はいかがでしょう。お願いします。</p>
副委員長	<p>色々ありがとうございます。2ページ目の短気的な措置に対する数値指標から2件お伺いしたいと思います。⑱サイクリストサポート体制の充実化というところで、令和5年度の実績値が112事業所となっていますが、令和6年度になると26事業者減って96事業所が目標値となっています。これは減っているのか新規で96事業者を増やすのかを明確にお伺いできたらと思います。</p> <p>2点目ですが、先ほど学校教育課も仰っておられた㉔保幼こ・小・中・高における各年齢段階での交通安全教育の推進の小学校の目標値、この6回というのは各校にお</p>

	<p>いて年度で6回実施されたのか、15校の中でピックアップして6校で6回実施されたのか、そちらもお伺いできたらと思います。</p> <p>以上です。お願いします。</p>
事務局	<p>96事業所という数字が私も今どこから出た数字かわからないのですが、現在の登録事業者数は継続で112事業所の皆さんに登録いただいたという状況でございます。令和2年に作成した自転車活動推進計画、現行の計画の目標値は100事業所のままでしたので、一応目標を達成した状態でキープしています。引き続き、皆さんにもう1回お願いしたいなというところです。</p>
学校教育課	<p>小中学校の開催の実績の算出の仕方ですけども、市内小学校、中学校全体の平均値です。目標の6回というのは、全ての学校の全ての学年が開催すると6回になるという計算の考え方でやっております。なので、先ほど申し上げましたように、昨年度は実施そのものができてないところが1校あり、開催したところ学校であっても、すべての学年ではなくて、学年を絞って開催している学校もございます。それで平均を取るとこういう数字になるということでご理解いただければと思います。</p>
副委員長	<p>丁寧なご回答ありがとうございます。せっかく目標値をこちらに書かれるのであれば、各校ごとの集計であればかなりの数字が出ると思います。年間においてこれだけ益田市はやっているというところで、総回数を表されると、益田市さんの取り組みが皆さんに伝わるのではないかと思います。こちらだと6回しかやってない、資料中の表記で言えば24校において6回しかやってないのかと勘違いしてしまいました。せっかくであれば何十回とやっていますということでPRしていただけたらと思います。</p>
委員	<p>前も申し上げたと思うのですが、小学校在学中に6回もやっているところは日本中どこ探してもなく、益田はものすごく回数が多いです。私は横浜市に住んでいるのですが、うちの娘はおそらく1回も受けないまま小学校を卒業します。横浜市の場合は小学校3年生が受講することになっていて、開催が7月のため猛暑だと行ないません。受けないまま終わる方が多い中で6回というのは本当に多い数字ですが、次期計画では改めてこんなに高い数字を目標に掲げる必要があるのかなとも思います。現行計画の50ページで、益田小学校は1年、3年、5年にやります、高津小は3年にやりますとあり、これらを平均していくとおそらく4.6回のようにになるとだと思います。けれども、毎年やるということより、もっと皆さんが継続して目にする機会を増やすことも必要です。例えば、ルールとは何か、どうしてそのルールがあるのかが理解できると皆さん守れるということです。右側通行すると車に轢かれるから右側通行してはいけない、ライトをつけないと夜見つけてもらえないからライトをつけなきゃいけない、そうしたことがわかるようなポスターを掲示するといった方法も考えられます。交通安全教室の開催回数を増やしていくというところに尽力するよりも、次はもっと効率よく結果を出す方法にシフトしても良いのではないのでしょうか。</p> <p>例えば長野県は日本の中で一番横断歩道に人が待っている時に車が止まる回数が高い県のランキングで毎年1位です。交通安全活動を推進する専門の機関がありまして、放課後のホームルーム、授業が終わった後の帰りの会の時に5分でできるチェッ</p>

	<p>クテストがその機関からどんどん提供されていて、子供たちが継続して交通ルールに対して正しいものを考えて答えを出していく時間を設けています。そして大きくなると、ドライバーが子供たちや自転車に対するリスペクトを持っているという良い循環があります。なので、次回は回数にこだわるよりもみんなで作業を分け合いながらできるようなもの、結果が出るようなものにシフトしてもいいのかなという様に思いました。どういう政策をするかについても、高齢者に対する教育が今一番難しいです。先ほどトピックスになっていましたが、シニアの方に集まっていただいて教室を開催するのは今すごく難しい状況で、シニアの方にどう伝えていくのが課題になると思います。例えば、スーパーに協力してもらって、スーパーに啓発用のポスターを貼るとか、次は具体的に結果が出るようなものをみんなで考える方向にシフトしてもいいと思いました。とにかく益田すごいぞというところだけ今は記憶に残っていただければと思います。</p> <p>また、1点お願いがあり、自転車が関与する事故件数13件を0件にするという目標がありました。次期計画を策定する前に今どんな事故が起きているのかというデータを次回は出していただきたいです。市民アンケートの結果が上がってくると思いますが、あわせて、もしヒヤリハットみたいなものがあれば、どういったところで皆さんが怖いなと思っているのか、なんで自転車に乗らないのか、そこを踏まえると日常的な移動手段における自転車利用の割合を上げていくためのヒントが出てくると思います。次の計画はもっともっと結果が出せるようなもので、皆さんが苦しくならないようなものを一緒に考えていけたらと思います。個人的には、この5年間、コロナ禍がありまして、おそらく市役所の皆さんも配属が変わり、本当に厳しい状況があったと記憶しております。私は次が本番かなと考えていますので、次は現実的にできて結果が出せるものにみんなで作り上げていけたらと思っています。</p> <p>すいません、長くなりました。以上です。</p>
事務局	先ほどちょっと事故件数のお話があったのですが、令和5年度の実績は先日、警察の方に情報提供いただきました。令和5年は人身事故が6件あったということです。
委員	年齢等はわかりますか。
事務局	委員、年齢等が分かるデータは提供いただけるものなのでしょうか。
委員	大丈夫です。
事務局	では次回、皆様にお渡ししたいと思います。
委員	全国的にも10代の方の事故多いですけど、高校生、10代の方の自転車利用が多いようなので、その辺りはどうなのかと見られたらいいと思います。
事務局	次回提供いたします。
<b>(「ヒアリング対象者一覧」事務局説明記録省略)</b>	
委員	自転車活用推進計画の18ページを見ると、自転車利用者の年齢というのがありまして、10代の高校生が非常に多いです。高校生で自転車を使って通学している子どもたちの状況が分かる方、高校のPTAなのか学校なのかわからないのですが、自転車

	<p>通学をされている子ども達に繋がっているところに聞けると良いと思います。あとは、60代、70代、80代と半分がシニア世代にかかっており、この方々のニーズや声が拾えたらいいのかなと思います。私自身もどこに聞いたらいいいのかが分からず、難しいと思いますが、実際の自転車利用者の方々が感じている不安や不便が聞けたらいいのではないかなと思います。その観点が今のヒアリング先のリストからは抜けているので、実際に市民の方に繋がっているところからも聞かれた方が実効性のある中身になるのではないのかなと思いました。私もシニアで誰に聞いたらいいいのかが全然ピンとこないなので、もしアイデアがあったら教えてください。</p>
事務局	<p>先日、市民アンケートと高校生アンケートについて、皆さんからご意見を聴取させていただきました。市民アンケートに関しては、2000名の対象者に対して各世代100名からご意見いただけるように配分をさせさせていただいています。</p> <p>若年層の意見に関しましては、高校生アンケートを市内の高校2年生を対象に行うこととしており、各種アンケートから意見をいただけたらなと思っていたのですが、高校生自身のアンケートではなくて、それに通じる大人からいただきたいということでしょうか。</p>
委員	<p>そうです。他の委員会等でPTAの代表の方や校長先生などに来ていただいています。やはりその大人の目から見てどういうことが起きているかというジャッジの方が案に繋がることが多いです。経験からいけば、PTAか校長先生、特にすごくよく見てらっしゃる校長先生がもし地域にいらっしゃればそういった方。また、シニア層については、実際のユーザーよりも特に若年層の場合は管理されている大人に聞かれた方がいいかなと思います。</p>
委託事業者	<p>例えば高齢者に対するあるいは障害者の方に対する安全教育というところで、益田市さんの方もアクション起こされてきた経緯があると思います。依頼先、協力先として、例えば、福祉部局の方とアクション取っているところなどに確認ができたらいいいと思っております。あとは、社会福祉協議会などのネットワークの中で地域の高齢者に深く関わっている方、地域プレイヤーの方、高齢者福祉の方に聞いていけると課題やどういう点で協力したら安全啓発活動ができる等のご意見を頂戴できれば、おそらく次の施策などに繋がると思います。この観点は抜けておりましたので、1度、庁内のより詳しい課を通じてヒアリング先に加えていきたいと考えております。よろしく願いいたします。ありがとうございます。</p>
委員	<p>河川管理者というのはどういった視点でヒアリングをされるのでしょうか。</p>
委託事業者	<p>今、高津川かわまちづくり計画が動き出しておりますので、その関係から自転車活用推進計画との連携や、当該こちらの自転車計画で施策として考えられるようなこと等の視点から、少しお伺いできればと思っております。</p>
委員	<p>かわまちづくり計画とは離れてということですか。</p>
委託事業者	<p>かわまちづくり計画を中心と思っております。</p>
委員	<p>かわまちづくりのことは、かわまちづくり計画の中でまとめていければいい話かと思われま。</p>

	<p>自転車活用推進計画に基づいた話として、かわまちづくり計画について聞き出し          ということはイメージができません。</p>
委託事業者	<p>お伺いしたい主な内容は、かわまちづくり計画の展望の部分になります。かわま          ちづくり計画と今回の自転車活用推進計画が交わるところ、おそらく自転車による          健康作りになると思われませんが、うまくサイクリングコースを活用していくため          のご意見等を河川の観点から少しお伺いできればと、追加させていただいたところ          です。ヒアリングに関しては、道路と河川が分かれていることは存じております。</p>
委員	<p>ここでの問題は所管課が道路と河川に分かれているということではありません。          かわまちづくり計画において、河川管理と今仰ったイベントとしてのフィールド          の使い方というのはまた別です。使い方は、益田市が考えていただくことです。          質問の内容にもよりますが、どういった人間が出ればいいのか、担当者がわかり          ませんでした。</p>
委託事業者	<p>ヒアリングシートは事前にお示しさせていただきます。ヒアリング事項を共有さ          せていただいてから、ヒアリングをさせていただこうかと思っております。高津川          として色んな所であるかと思えます。またその際、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>アンケートは、益田市民の方を対象に実施されるということですが、将来像とし          て訪れたい町というのを掲げていますので、外部の方、市外の方でサイクリストと          して訪れたことがある方、また訪れたいと思っている方、その皆さんの視点をヒア          リング対象者にするのはいかがでしょうか。難しいかもしれませんが、入れていた          だけるとより具体的にこういうことがあったらいいや課題が見えてくるのではない          かなと思います。もしサイクリストとして実際に訪れた方にアンケートをするシス          テム等が整っていれば、更にスムーズに意見を聴取できるのではないかと思います。</p>
委託事業者	<p>ありがとうございます。また事務局とご相談させていただいて、そうしたところ          がないか含めて検討させていただきたいと思えます。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>以上で議事を終了させていただきます。それでは、事務局に進行を戻します。</p>

## 5. その他

事務局	<p>委員長、ありがとうございました。          それでは最後にその他に関してですが、先ほども説明にありました通り、今年度          つきましては4回の委員会の開催を予定しております。次回の委員会につきましては          9月上旬を予定しております。改めてまたご連絡をさせていただきますので、ご出席          いただきますようよろしくお願いいたします。</p>
-----	--

## 7. 閉会

事務局	<p>それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回目となる、益田市自転車活用推進          委員会を終わりたいと思えます。本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠          にありがとうございました。</p>
-----	--

－ 以上 －